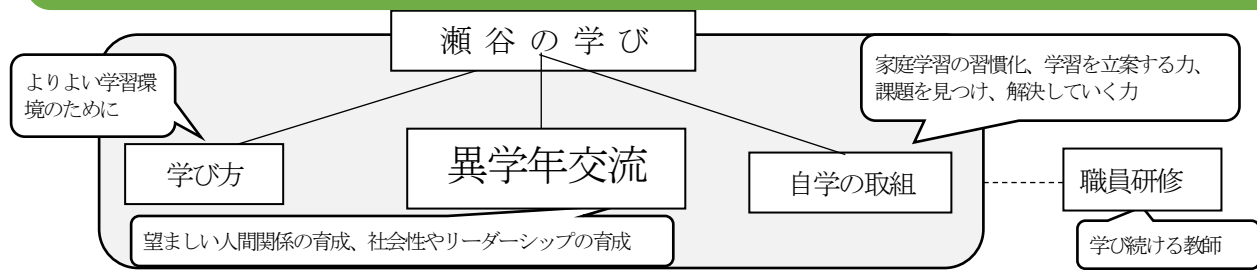


「瀬谷の学び」とは…

担当：佐々木修二



瀬谷小学校では、これらの3つの総称を「瀬谷の学び」としています。全校で取り組み、6年間を積み上げていくことで、豊かな学校生活を送ることをねらいとしています。

～学び方では…次のような子どもたちの姿を目指しています～

- 返事はいつも聞こえる声でしょう！
- 活動中に指示を聞くとときは、「目」で話を聞こう！
- 「静かにしてください。」のない教室や集合にしよう！
- 分からない言葉があったら、国語辞典を引こう！（3年生以上）
- 忘れ物をしたときは、その後どうするかを先生に伝えよう！
- 連絡帳やお金（集金）を出すときは、一声かけよう！

～自学の取組では…～

6年間を通して自主的に学習する習慣を身に付けることが、子どもたちの学習の基礎基本となると考えています。右側のページには漢字練習を行い、左側のページには、自分で考えた内容の学習を行います。このように取り組むことで、“自学力”が成長していきます。そして、そのことをもとに、基本的な生活習慣を形成する態度や課題を発見する力、思いやりをもって働きかける姿勢へとつながっていくことを目指しています。

～異学年交流では…～

瀬谷小では、パディとの交流は様々な場面で行われています。それは、「子どもは、子ども同士の言葉と関わり合いで育つ」と考えているからです。さらに、「責任をもって人と関わる力」を育てることを大切にしたいと考えています。

- 自分と人との関わり方に気づいたり、自分の内面的な感情を見つめたりしながら、自己の成長を感じることができる活動です。「〇〇さんと会うのが楽しい！」このようなことを楽しみにしている姿をいっぱいになりたいです。

このような子どもの姿を目指しています。

これまで、これからも「瀬谷の学び」に取り組んでいきたいと思ひます。

より良い学校生活のために ～児童支援専任ってどんな役割？～ 担当：今野陽弥

【児童支援専任の1日】

朝	登校支援…子どもたちの表情を見て、様子を観察しています。
1～6校時	専科（図工）の学習 教室巡回 教育相談 児童に関わる問題への対応
放課後	今後の支援についての検討…様々な先生と一緒に、より良い支援について語り合っています！

【児童支援専任の役割と大切にしていること】

※児童理解…児童支援専任が一番大切にしたい部分は、児童理解です。子ども一人ひとりを見取る目をもって、子どものちょっとした変化にも気付けるように心がけています。学習中の教室を巡回したり、休み時間の様子を観察したりして、何か変わった様子や変化があった場合、担任に知らせたり、協力して支援を行ったりしています。

※未然防止…専任の仕事は、本来何かが起こった時に動くものではなく、起こらないように動くべきものです。問題が起こった時には、担任と連携を取りながら迅速に対応していきます。

※教育相談…教育相談の予約を受け付けたり、それに伴って、簡単な相談内容を聞いたりすることもあります。お子さんのことで心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

子ども達がより良い学校生活が送れるような支援を常に職員間で考えています。他市では児童支援専任を『みんなの先生』と称している学校もあります。私も『みんなの先生』として、たくさん子ども達と関わることに幸せを感じながら日々を過ごしています。